

## < あなたの治療について >



### 呼内-NVB-NSCLC-q3W

今回の治療は、NVB 療法という治療法で、ナベルピン（NVB）という注射薬で治療を行います。腫瘍の増殖を抑えるお薬です。

#### 治療全体の流れ

今回の化学療法は3週間が1コースとなっています。各コースの1日目と8日目に点滴を行います。この治療を3週間（21日間）ごとに繰り返します。副作用が強く出たり、体調がすぐれない場合は回復するまで、治療を延期したり、お薬の量を減らしたりすることがあります。また、隔週で投与することもあります。

#### 1コース分の治療スケジュール

順序	薬剤商品名 (薬の作用)	投与	1日目	2~7日目	8日目	9~21日目
	ナベルピン (抗がん剤) 25mg/m <sup>2</sup>	点滴 約5分				

点滴中や点滴後に、注射部位が痛い、赤くなってはれる、水ぶくれができる、ただれるなどの症状に気づいたときは、すぐに申し出てください。また点滴中は、腕を動かすことにより針がずれ、点滴漏れが生ずることがありますので気をつけて下さい。

#### 起こりやすい副作用について（頻度20%以上）

##### ナベルピンについて

白血球減少、好中球減少、血色素量低下、赤血球減少、血小板減少 食欲不振、嘔気、嘔吐  
発熱 全身倦怠感 脱毛

#### 特徴的な副作用について

##### ナベルピンにおける

##### 間質性肺炎

「息切れがする、息苦しくなる；から咳が出る、発熱」などの症状

##### イレウス

「便秘、頑固な便秘；だんだん強くなる腹部膨満、吐き気」などの症状

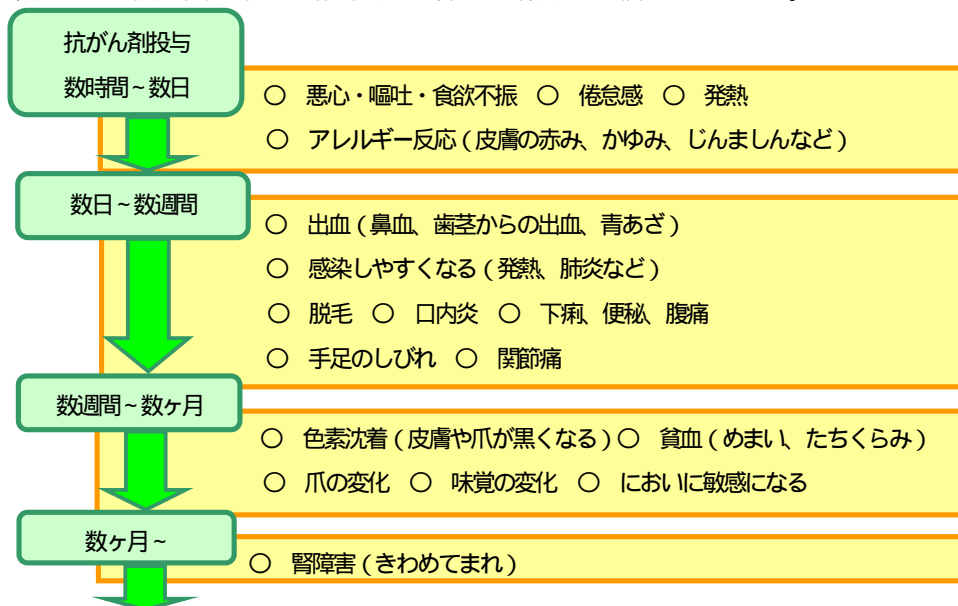
\* 上記症状が現れたときは、必ず医師・看護師・薬剤師にご相談下さい。

## 副作用の発現時期の目安

\*この図は、今回用いられている抗癌剤による副作用だけでなく、他の抗癌剤によって起こる副作用も含まれています。

これらの副作用がすべてあらわれるわけではありません。

また、発現する時期や程度も抗癌剤の種類や患者さんの体質により個人差があります。



## 副作用の対策について

吐き気・嘔吐、下痢と便秘、口内炎、感染症、出血、貧血、脱毛などの副作用の対策について知りたい方は、資料をお渡しすることができますのでお申し出下さい。

**薬品毎の副作用について(添付文書における重大な副作用を製薬会社作成「薬のしおり」などから抜粋)  
まれな副作用ですが、このような症状が現れた際には医師・薬剤師・看護師へご相談下さい。**

### 【ナベルピン】

- <白血球減少>発熱、寒く感じる・ふるえ、喉の痛み
- <貧血>疲れやすい、めまい、頭がふわふわする、皮膚や顔が青白い
- <血小板減少>原因不明のあざ、歯茎からの出血、鼻血、月経量の増加、血がとまりにくい
- <間質性肺炎>発熱、空咳、息切れ、呼吸困難
- <肺水腫>発熱、咳、呼吸困難
- <気管支けいれん>腹痛、せいでいする、呼吸困難
- <イレウス>お腹が張る、便秘、腹痛
- <心不全、心筋梗塞、狭心症>手や足首のむくみ、息切れ、動悸、胸の痛み
- <ショック、アナフィラキシー様症状>発疹、蕁麻疹、頻脈、せいでいする
- <肺塞栓症>呼吸困難、胸の痛み
- <抗利尿ホルモン不適合分泌症候群>倦怠感、食欲不振、吐き気、嘔吐、冷感、頭痛、無気力、眠れ、けいれん
- <急性腎不全>頭痛、尿量の減少、手や足首のむくみ、わき腹の痛み
- <急性膵炎>上腹部の激痛、吐き気、嘔吐

上記のほかにも副作用が現れることがあります。

他にもからだの異常を感じたら、主治医や薬剤師、看護師に相談してください。